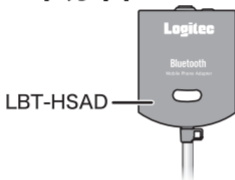


Bluetoothヘッドセット&携帯電話用アダプタ クイックスタートガイド



LBT-HSAD



LBT-HS100C2

同梱品について

<input type="checkbox"/> 携帯電話用アダプタ (4極平型)	1個
<input type="checkbox"/> 充電用ACアダプタ	1個
<input type="checkbox"/> 同時充電用2股ケーブル	1本
<input type="checkbox"/> 交換用イヤーフック	1個
<input type="checkbox"/> 交換用カラープレート	2枚
<input type="checkbox"/> クイックスタートガイド	本書
<input type="checkbox"/> Mac OS X、iChat AV セットアップガイド	1冊



この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本取扱説明書では、製品の使用方法、取り扱い上の注意事項などについて記載しております。製品をご使用になる前に必ずご一読ください。また、読み終わった後もいつでも参照できるように保管しておいてくださいますようお願い申し上げます。

目次

取扱い上のご注意	1
電波に関する注意事項	6
製品の概要	7
各部の名称と機能	8
イヤーフックの付け替えについて	10
ご使用の前に	11
充電について	12
ペアリング（機器の認証）の方法	14
電源のON/OFFについて	16
使用方法	17
トラブルシューティング	19
付録	24
製品仕様	26
オプション品について	28
保証書とサービスについて	30
お問い合わせについて	31

ご注意

- ①本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。
- ②本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。
- ③本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、②項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ④本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
- ⑤本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。
- ⑥本製品に保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- ⑦弊社は、本製品の仕様がおお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。
- ⑧本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
- ⑨本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

※この製品はauモバイル環境でご使用になれますが、本製品の品質等に関してKDDI株式会社が何ら保証するものではありません。

取扱い上のご注意

■本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

■表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告 この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う危険性がある項目です。



注意 この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かかに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

※マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。装置について何か問題が発生した場合は、ただちに使用を中止し、お買い求めの販売店へご連絡いただくか、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。



警告

●万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに使用を中止し、電源を切り、充電中の場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



●自動車運転時にご使用になる場合

自動車運転時に本製品を通じて通話を行う場合は、運転に支障のないように十分ご注意ください。

長時間に渡り会話をする必要がある場合などは、「後でかけなおす」と相手に伝えて、いったん電話を切り、運転が終了してから、安全な場所で通話を行ってください。

また、都道府県の条例によっては、本製品を使用できない地域が設けられている場合がありますので、そのような地域では使用しないでください。



●正しい電源で充電してください。

充電時、ACアダプタは必ず、AC100Vのコンセントに接続してください。

また、本取扱説明書で指定する方法で充電を行ってください。注意事項をお守りにならない場合、バッテリーの寿命が著しく短くなる場合があります。



●高温のまま放置しないでください。

本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



●車の中には絶対に放置しないでください。

本製品を高温の車内に長時間放置しておくと、内部電池の破裂・発火・故障の原因となり大変危険です。



●充電には付属のACアダプタ以外使用しないでください。

本製品は内部電源にリチウムポリマー電池を使用しています。この電池は扱いを誤ると発火の危険性があります。本製品の充電には付属のACアダプタ以外は使用しないでください。異なるものを使用すると発火・故障の原因となりますので、絶対におやめください。





警告

- **充電が終わったら必ずACアダプタを取り外してください。**
また、必要な充電時間を終えても充電が完了しない場合も
いったん充電を終えてACアダプタを取り外してください。

所定の充電時間を超えて充電を行った場合、内部電池が発熱・発火・破裂する危険性があります。また、電池寿命に影響を与える場合があります。

- **着信音量の設定には十分気をつけてください。**

携帯電話とペアリングをして使用しているときに、着信音にびっくりして、事故の原因となったり、心臓に影響を与える恐れがあります

- **分解しないでください。**

本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。

※特に電源内部は高電圧が多数あり、万一、触れると危険です。

- **水気が多い場所での使用/保管は行わないでください。**

本製品内部に液体が入ると、故障・火災・感電の原因となります。また、充電時に濡れた手でACアダプタを触ると、感電の原因となりますのでおやめください。

- **小さなお子様の手の届くところに保管しないでください。**

誤飲など思わぬ事故を招く場合があります。

- **病院内や航空機の中などでは使用しないでください。**

高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機器や航空機の計器類などの誤動作の原因となります。

- **ACアダプタの接続端子や本製品の電源コネクタ等の金属部分に触れないでください。**

故障・感電の原因となります。





注意

●充電時はACアダプタのコードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は、火災の原因となります。



●充電時はACアダプタのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



●本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用/保管は避けてください。



●車載機器と電波干渉が起こる場合は使用しないでください。
ご使用のお車により、まれに車載機器との間で電波干渉が起こる場合がございます。そのような場合は、本製品の使用を中止してください。



●充電中は本製品およびACアダプタの周りに物を置かない
てください。

発熱/発火/火災/やけどの原因となります。



●ご使用にならないときは電源をOFFにしてください。

本製品は待ち受け中も電力を消費します。長期間電源がONのまま放置しておくと、実際の通話時に電池切れを起こす場合があります。



●ご使用の際は接続機器の取扱説明書の指示に従ってください。

本製品は、パソコンや携帯電話などと無線通信による使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項にしたがってください。





注意

●定期的に充電を行ってください。

本製品を長期間使用しない場合でも、1ヶ月に一度を目安に充電を行ってください。



●ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



●日本国以外では使用しないでください。

この装置は日本国内専用です。他国には独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合する事は保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねますのでご注意ください。



●本製品を廃棄する場合

本製品は内部電池にリチウムポリマー電池を使用しています。リチウムポリマー電池はリサイクル可能な資源です。

本製品を廃棄する場合は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。お問合せ先については、本書巻末をご参照ください。



●携帯電話用アダプタには自身はもちろん、携帯電話側にも傷をつけにくいように表面処理を施しておりますが、お取り扱い方法や使用される環境によっては携帯電話や携帯電話用アダプタに擦り傷がつく可能性があります。お取り扱いには十分ご注意ください。





電波に関する注意事項

本製品は2.4GHz帯の無線電波を使用しています。

本製品が通信時に使用する2.4GHz帯の電波は以下の機器や無線局が使用しています。

- ・産業・科学・医療用機器
- ・電子レンジなどの加熱装置
- ・工場の製造ライン等で使用される
移動体識別用の構内無線局（免許を要するもの）
特定省電力無線局（免許を要しないもの）

そのため、以下の注意事項をお守りの上ご使用ください。

- 心臓ペースメーカーを使用している人の近くや、医療用の機器の近くでは絶対に使用しないで下さい。電波干渉を及ぼし生命に危険を与える可能性があります。
- 電子レンジなどの加熱機器のそばでは使用しないで下さい。電波干渉が発生します。
- 本製品をご使用前に本製品の周辺で移動体識別用の構内無線局または特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。本製品とそれらの無線局に電波干渉が生じた場合は、弊社テクニカルサポートにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 電波干渉が起こると、通信ができなくなったり、正常に相手の声が聞こえない、自分の声が伝わらないなどの現象が起こる場合があります。そのような場合は直ちに本製品の使用をおやめください。

その他、本製品から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合等、問題が発生した場合は弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。（弊社テクニカルサポートの連絡先については、本書巻末をご参照ください）

使用周波数帯域：2.4GHz

変調方式：周波数拡散方式 FHSS（Frequency Hopping Spread Spectrum）

想定干渉距離 ...：約10m（障害物のない場合）

周波数変更の可否：全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定省電力無線局」帯域を回避可能。

はじめに

本製品はBluetooth対応の耳掛け式ヘッドセットに携帯電話用Bluetoothアダプタを付属したハンズフリー携帯通話用セットです。携帯電話の4極平型端子にのイヤホンジャックに携帯電話用Bluetoothアダプタを接続すれば、ハンズフリー機能のない携帯電話でも、Bluetoothでのハンズフリー通話（※1）が可能となります。もちろん、Bluetooth搭載の携帯電話やパソコン（※2）でご使用になることもできます。

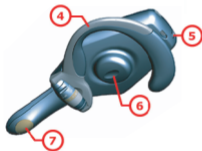
- ※1 Bluetooth機能非搭載の携帯電話に付属の携帯電話用Bluetooth アダプタを接続してご使用になる場合、本製品の機能は、着信のみとなります。
- ※2 本製品のサポートするOSはMac OS X 10.3以降となります。
なお、Mac OS Xでの設定方法については、別冊の「Mac OS X、iChat AVセットアップガイド」をご参照ください。

各部の名称と機能

本体部 (LBT-HS100C2)



- ① 音量ボタン (下げる)
- ② 音量ボタン (上げる)
この2つのボタンで、ペアリング先の機器から送られてくる受話音量の調節を行います。
- ③ 電源/通話/ペアリングボタン
電源のON/OFFおよび、ペアリングの設定を行うときにこのボタンを押し続けます。
また、ペアリング確立後は、着信時、通話を開始する際にこのボタンを押します。



- ④ イヤーフック
この部分を耳に掛けて使用します。フックの向きを反対にして付け替える事で左右どちらの耳にも装着する事ができます。
- ⑤ 充電用アダプタ入力コネクタ
本製品の充電時に付属のACアダプタを接続します。
※充電には付属のACアダプタ以外使用しないでください。

- ⑥ スピーカー
通話中の相手の声が聞こえます。

- ⑦ マイクフォン
この部分を通して自分の声が相手に伝わります。マイクフォンは収納式になっています。ご使用にならないときは内側に折りたたんで持ち運ぶ事ができます。



ポイント

- ※ 通話開始時に、電源/通話/ペアリングボタンを押す回数は、ご使用の機器により異なります。あらかじめ、ご使用の機器で動作をご確認ください。

携帯電話用アダプタ部 (LBT-HSAD)

① 状態表示ランプ

アダプタの状態を青色と赤色の点滅にて表示します。

ペアリング待ち時は、青色と赤色交互に点滅します。電源ONまたは、ペアリング確立時は青色に点滅します。

② ストラップホール

この部分に携帯用ストラップなどをつけておくと、持ち運びの際に便利です。

③ 電源/ペアリングボタン

電源のON/OFFおよび、ペアリングの設定を行うときにこのボタンを押し続けます。

④ 充電用アダプタ入力コネクタ

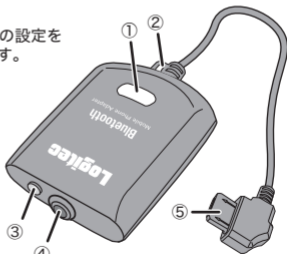
本製品の充電時に付属のACアダプタを接続します。

※充電には付属のACアダプタ以外使用しないでください。

⑤ 接続コネクタ

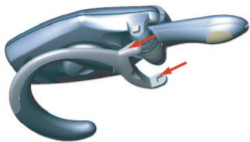
ご使用の携帯電話の、4極平型コネクタに接続します。

※コネクタの形状が異なる機種ではご使用になれません。



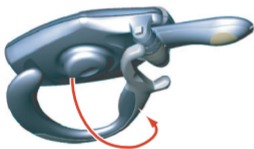
イヤーフックのつけかえについて

本製品のイヤーフックは付け替えが可能となっております。イヤーフックを付け替える事で左右どちらの耳にも装着する事ができるようになります。イヤーフックの付け替え方法は以下をご参照ください。

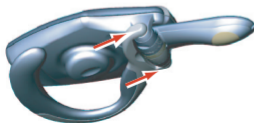


1.イヤーフックを手前に引くような形で取り外します。

固定されている2箇所のうち、片方を抑えながらもう片方を引くとうまく外れます。



2.イヤーフックの向きを変えることで反対側の耳に合わせることができます。



3.向きを変えたらイヤーフックを再度取り付けます。無理な力を加えないでください。

片方を先に取り付けてそこを抑えながら、もう片方を取り付けると無理な力を加えずにすみます。

ご使用の前に

本製品は使用前に充電を行い、本体と付属の携帯用アダプタとでペアリング（認証）を行う必要があります。

ここでは、

- ・充電について
- ・ペアリングの方法

についてご説明します。ご使用の前に必ずお読みください。

ご注意

※ 本製品は、ペアリングの設定をしてからでないと使用できません。

充電について

はじめに、付属の「ACアダプタ」を使用して本体と携帯電話用アダプタの充電を行います。

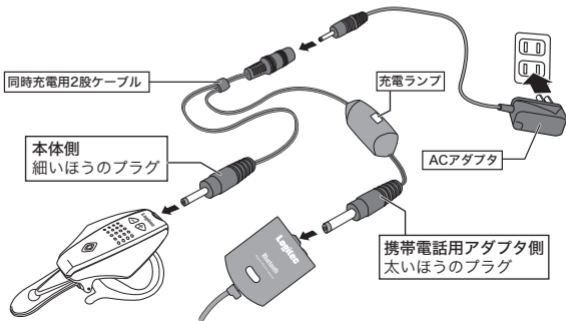
充電は「同時充電用2股ケーブル」を下図のようにACアダプタの電源コネクタに接続し、本体と携帯電話用アダプタを同時に行います。

- ※「同時充電用2股ケーブル」の出力プラグは、携帯電話用アダプタに差し込むプラグと、本体に差し込むプラグとで太さが異なります。太いほうのプラグを携帯電話用アダプタに、細いほうのプラグを本体に、それぞれ差し込んで充電を行ってください。

充電中はヘッドセット側は本体の電源ボタンが赤色に点灯します。携帯電話用アダプタは、2股ケーブルの携帯電話用アダプタ側についている充電ランプが赤色に点灯します。

充電が終わると、それぞれ緑色に点灯します。

充電が終わったらACアダプタを取り外してご使用ください。



ご注意

- ※ ACアダプタは必ず本製品に付属のものをご使用ください。異なるものを使用すると、故障の原因となります。
- ※ 通常は約2～3時間で充電が完了しますが、初めて充電する際は最低でも4時間は行ってください。。この時間を過ぎても充電が終わらない場合も、充電を止めてください。電池寿命が短くなったり故障の原因となります。
- ※充電中は、ヘッドセットは動作しません。

ペアリング（機器の認証）の方法

本製品をご使用になるには、ペアリング操作が必要です。ペアリング操作とは、ヘッドセット本体と携帯用アダプタを相互に認証させる作業のことを言います。

本体と携帯電話用アダプタとのペアリング方法

1. ペアリングを行う前にヘッドセットと携帯電話用アダプタの電源を切ります。

2. ヘッドセットは電源ボタンを赤色と青色の交互に点滅するまで押し続けます。
電源ボタンが赤色と青色の交互に点滅したらペアリングモードとなります。

約7秒以上押し続けます



3. 携帯電話用アダプタの電源ボタンを2秒間押すと、状態表示ランプが赤色と青色に同時点灯しますので、いったん手を離します。その状態が6秒ほど持続した後青色の点滅になります（電源ON状態）。

この状態から、再度電源ボタンを2秒押すと、状態表示ランプが赤色と青色に同時点灯しますので手を離します。状態表示ランプが赤色と青色の交互に点滅し、ペアリングモードとなります。

状態表示ランプで確認
します。

電源をONにしてから、
再度2秒押します。



4. ペアリングモード状態のヘッドセットと携帯電話用アダプタを近づけると、4～5秒で自動的にペアリングが行われます。



5. ペアリングが完了するとヘッドセットの電源ボタンと携帯電話用アダプタの状態表示ランプが青色の点滅になります。これでペアリングは完了です。携帯電話用アダプタをご使用の携帯電話に接続すると、使用可能となります。

※時間切れなどでペアリングに失敗した場合は、最初から操作をやり直します。

参考



Bluetooth機能搭載の携帯電話やパソコンなどとペアリングを行う場合は、ヘッドセット本体と対応機器の間でペアリング操作を行います。この場合は、携帯電話用アダプタは使用しません。

Bluetooth機能搭載の携帯電話との設定手順については、「トラブルシューティング」の21ページをご参照ください。


Macintoshとの設定手順については、別冊の「Mac OS X、iChat AVセットアップガイド」をご参照ください。

※ペアリングは一度行えば、認証をした機器の記録がそれぞれの機器のフラッシュメモリ領域に書き込まれるため、電池が消耗したり電源を切っても保存されます。

ヘッドセット本体の電源をONにする場合

ヘッドセットの電源は、電源ボタンを5秒以上押し続けるとONになります。電源がONになると、電源ボタンが青く数回点滅します。耳に装着している場合、スピーカーから高音のブザーが2回鳴ります。この状態を確認したら指を離してください。

電源がONの状態では、電源ボタンが定期的に青色に点滅します。

ペアリング状態（赤と青の点滅）から電源ON（非ペアリング状態）にする場合は、電源ボタンを1回押してください

ヘッドセット本体の電源をOFFにする場合

電源をOFFにする場合は、電源ボタンを2秒以上押し続けてください。電源ボタンが赤く数回点滅し、スピーカーから高音のブザーが2回鳴り、電源がOFFになります。

携帯電話用アダプタの電源をONにする場合

携帯電話用アダプタの電源は、電源が切れた状態から本体下部の電源ボタンを2秒以上押し続けます。電源がONになると状態表示ランプが赤と青同時に点灯しますので、ここで指を離してください。同時に点灯状態が6秒間持続した後に状態表示ランプが、青色に点滅した状態になり、以後定期的に点滅を繰り返します。

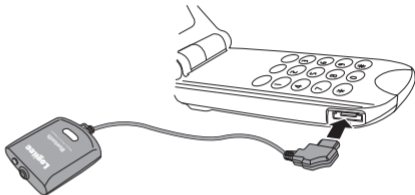
携帯電話用アダプタの電源をOFFにする場合

携帯電話用アダプタの電源が入っている状態（青のLEDが点滅している状態）で、本体下部の電源ボタンを押し続けると、状態表示ランプが赤と青同時に点灯します。そのまま電源ボタンを押し続けることで状態表示ランプが消灯し、アダプタの電源が切れます。

※本操作に失敗をするとペアリングモード（赤と青のLEDが交互に点滅をする状態）になります。その場合は再度電源ボタンを押し、電源を切る操作をやりなおしてください。

使用方法

下図のように、ご使用の携帯電話の4極平型コネクタに、携帯電話用アダプタを接続してください。これで、Bluetooth機能を持たない携帯電話でも、通話を行うことができますようになります。



※ 付属の携帯電話用アダプタを使用しないで、ヘッドセットとBluetooth対応機器との組み合わせでご使用になる場合は、「トラブルシューティング」をご参照ください。


ご注意

- ※ 携帯電話に差し込む際にはプラグの向きに注意します。差し込む際に固い場合は無理をして差し込まずに形状を確認してください。
- ※ アダプタを携帯電話から取り外すときは、必ずプラグを持って取り外してください。アダプタ本体を持って引き抜くとケーブルが断線する恐れがあるだけでなく、携帯電話のイヤフォンジャックを破損する可能性があります。

携帯電話の着信への応答

ペアリング設定済みの携帯電話が着信すると、着信音が鳴ります。


着信時に、通話ボタンを押すと、本製品で通話する事ができます。

通話が終わったら再度通話ボタンを押すと電話を切ることができます。




着信、通話終了時に押します。

ご注意

- ・携帯電話によっては、着信、通話終了時に通話ボタンを2回押す必要がある場合があります。
- ・携帯電話によっては通話終了に10秒ほど時間がかかる場合があります。

発信の方法

携帯電話から発信する場合は、通常通りに携帯電話を操作して発信してください。

※一部の携帯電話ではキーコードの割り当てによって、待ち受け時にボタンを1回押すとリダイヤル機能等が付加されている場合があります。ご使用前にご確認ください。

ご注意

- ・運転中の携帯電話の操作は、道路交通法により禁じられています。

トラブルシューティング

●着信時通話音量が小さい。

本製品の電源を入れて最初の着信時は、通話音量が小さく設定されております。音量ボタンを押して適当な音量へ調整してください。調整した着信時通話音量はヘッドセット側の電源を切るまで保持されます。

これは、本製品の仕様によるものです。電源を入れて最初の着信時通話音量が車の運転等に危険を生じる通話音量とならないように小さい音量で設計されております。

参考

LBT-HS100C2の電源を切ると着信時通話音量の設定は保持されず、電源再投入時の最初の着信時通話音量は小さい音量となります。

●携帯電話で通話中に音が聞こえない。


一部の携帯電話では、通話中に会話をしばらく（約20秒以上）しないと、省電力モードに入りイヤホンジャックへの音声入出力をOFFとしてしまい、通話中にもかわらず通話音が聞こえない場合があります。

この場合は、ヘッドセットの電源ボタンを一度押してください。これにより通話が復旧いたします。

●本製品を使用中、ノイズやエコー音がする。

- ・ベアリング先の機器との距離を調整してみてください。
- ・音量を調整してみてください。
- ・付属の携帯電話用アダプタは携帯電話のイヤフォン出力とマイク入力を、そのまま利用して音声をヘッドセットに転送します。お使いの携帯電話のイヤフォン出力やマイク入力によっては音量が大きすぎて音声が歪むことや音声が小さい場合があります。この場合はお使いの携帯電話のイヤフォン出力、マイク入力のボリュームを調整してください。

●携帯電話からの着信ができない。

- ・携帯電話によっては、着信時にヘッドセット側の  ボタンを複数回押す必要があるものもあります。一度で着信できない場合は、何度か電源ボタンを押してみてください。


●通話相手に自分の声が聞こえない。

- ・一部の携帯電話ではイヤフォンのマイク入力を任意に切り替える機種があります。マイク入力OFFになっていると、ヘッドセットから音声は聞こえても話している音声が相手に聞こえません。そうした症状の場合は携帯電話のマイク入力設定を確認してください。

●着信する前に留守番転送されてしまう。

- ・携帯電話に着信してから留守番電話への転送が数秒と短い場合には、ヘッドセットへ音声転送される前に留守番電話に切り替わってしまう場合があります。留守番電話への転送時間を長めに設定することをお勧めします。

●通話終了後に電話が切れない。

- ・ご使用の携帯電話の仕様によっては、通話終了時に  ボタンを押した後、通話終了までに10秒ほどかかる場合があります。

●本製品の装着感がゆるい。

- ・本製品はイヤーフックを利用して耳に装着します。耳の穴に入れるタイプと比較すると、装着感はややゆるくなります。これは、本製品装着時に外部の音がある程度聞こえるように配慮したものです。外部の音が聞こえる事で、周囲の状況を把握しやすくし、行動中の安全面を考慮しています。また、ヘッドセットには重量があるため、イヤーフックによる固定の方が耳に対しての負担も少なくなります。

●Bluetooth搭載携帯電話で本製品を使用する方法がわからない。

- ・Bluetooth機能搭載機器で本製品を使用する場合は、付属の携帯電話用アダプタは使用せずに、ヘッドセットをBluetooth搭載機器とペアリングして使用します。以下をご参照ください。


ペアリング方法

1. ヘッドセットの電源をOFFにしておいてください。
2. ヘッドセットの電源ボタンを7秒以上押し続けてください。
3. 電源ボタンが青色と赤色に点滅をはじめたらボタンを押すのをやめます。これでヘッドセット側がペアリングモードになりました。
4. 次にペアリングを行うBluetooth対応機器をペアリングモードにします。ペアリングモードへの操作方法については各機器のマニュアルなどをご参照ください。
5. ペアリングする機器側からはヘッドセットは「HS100C2」と認識されますので、機種選択時は「HS100C2」を選択してください。また、ペアリングを確立する際にパスワードを入力する必要がありますので、その際は数字で「0000」と入力してください。
6. ペアリングが正常に行われるとヘッドセットの電源ボタンが青色に点滅する状態になります。

※時間切れなどでペアリングに失敗した場合は、最初から操作をやり直します。

応答について

ペアリング設定済みの携帯電話が着信すると、ヘッドセットのスピーカからも着信音が聞こえるようになります。

着信時に、通話ボタン  を押し、ハンズフリーでヘッドセットで通話することができます。

通話が終わったら再度通話ボタン  を押しと電話を切ることができます。

ご注意

- 一部の携帯電話では、着信時に通話ボタンを押す時間により、着信拒否などの特殊機能が割り当てられているものもあります。

発信について

通常通り、携帯電話を操作して発信を行うことができます。この場合、発信した時点で、ハンズフリーの通話ボタンを押してください。

また、Bluetooth機能搭載の携帯電話からは、ボイスダイアリング（音声タグを登録しての発信）等、各携帯電話に特有の機能が割り当てられている場合があります。これらの機能の使用方法については、ご使用の携帯電話のマニュアルをご参照ください。

ご注意

- 運転中の携帯電話の操作は、道路交通法により禁じられています。

参考：マルチペアリング機能について

本ヘッドセットは「マルチペアリング」機能がサポートされています。マルチペアリング機能とは、ヘッドセットを複数の機器で兼用する場合に、それぞれの機器との設定を一度行っておけば、たとえば携帯電話とのペアリングで使用した後に、Macintoshマシンと再設定の必要なくペアリングを行う事ができる機能の事です。

設定できる機器の台数は、最大3台までです。また、同時に複数の機器との通信ができるわけではありません。一度に通信ができるのは、あくまで1対1となります。

また、設定後に一度通信を終了してから、機器との再接続を自動で行いたい場合は、機器側が自動接続に対応している必要があります。

●Bluetooth搭載機器と本製品がペアリングできない。

- ・機器側のBluetooth機能が使用可能な状態である事をご確認ください。ペアリングモードが時間切れのため終わっている場合は、再度設定をする必要があります。
- ・ご使用の機器が本製品のプロファイルに対応しているかをご確認ください。

●Bluetooth搭載携帯電話のボイスダイアリング機能が使用できない。

- ・ペアリングしている携帯電話のボイスダイアリング機能が使用できる状態になっているかどうかを確認してください。ボイスダイアリング機能の利用方法についてはご使用の携帯電話の取扱説明書をご参照ください。

●ペアリング済みのBluetooth搭載携帯電話が着信しても、本製品が応答しない。

- ・一部の携帯電話では、本製品を使用するために切替操作が必要なものもあります。ご使用の携帯電話が、本製品を使用できる状態になっているかをご確認ください。

●音量が調節できない。

- ・パソコンで本製品を利用する際、一部のアプリケーションによっては音量をパソコン側で設定するものもあります。パソコン側の音量を上げる事で本製品の音量が上がる場合もありますので、パソコンの設定をご確認ください。

ヘッドセット本体 (LBT-HS100C2) のボタンの機能

◇ ボタン	電源ON/OFF	ON・ : 5秒以上押すと青色に点滅 OFF・ : 2秒以上押すと赤色に点滅
	着信応答	◇ ボタンを1回押します ※携帯電話用アダプタを使用している場合は2回押す必要がある場合があります。
	通話終了	◇ ボタンを1回押します ※携帯電話用アダプタを使用している場合は2回押す必要がある場合があります。
	ペアリング	電源がOFFの状態から◇ ボタンを7秒以上押します。ペアリングモードになるとボタンが青色と赤色に交互に点滅します。
◀/▶ ボタン	音量のコントロール	-/+ボタンを繰り返し押す事により適切な音量に調整します。
	ミュート/ミュート解除	-/+ボタンを2秒以上押します。 ※ただし、ご使用の機器によってはキーコードの割り当てによって使用できない場合があります。

※一部の携帯電話ではキーコードの割り当てによって、待ち受け時に◇ボタンを1回押すとリダイヤル機能等が付加されている場合があります。ご使用前にご確認ください。

ヘッドセットから聞こえるブザー音

電源ON・	ハイ・トーン (高音) 2回
電源OFF・	ロー・トーン (低音) 2回
ペアリングモード・	ハイ・トーン (高音) 2回
着信・	2秒間隔のリング・トーン
ミュート・	3秒間隔で2回連続の低音ピープ音
ミュート解除・	ピープ音1回
バッテリー電力低下・	通話可能時間が残り3~5分になったときに鳴り始めます。(約16秒間隔)

携帯電話用アダプタ (LBT-HSAD) のボタン/状態表示ランプの機能

状態	電源ボタンの操作	状態表示ランプの表示
電源ON	2秒押します	赤色と青色が同時点灯後、青色の点滅に変化します。
電源OFF	10秒以上押し続けます	いったん、赤色と青色に点灯しますが、ランプが消灯するまで押し続けてください。
ペアリング	電源ONの状態から2秒押します	赤色と青色が同時点灯後、青色と青色が交互に点滅します。
バッテリー低下	なし	赤色に点滅します。

製品仕様

機種名 . . . LBT-HS101C2

共通仕様

ワイヤレス仕様 . . .	2.4~2.480GHz ISM		
Bluetooth仕様 . . .	Bluetooth specification v1.1準拠		
周波数拡散方式 . . .	FHSS (Frequency Hopping Spread Spectrum)		
伝送距離 . . .	Class II 機器 ; 最大半径10m (障害物がない場合)		
Bluetoothプロファイル . . .	Headsetプロファイル、Handsfreeプロファイル Generic Accessプロファイル Service Discovery Applicationプロファイル		
アンテナタイプ . . .	内蔵型チップアンテナ		
使用環境 . . .	動作時 . . .	温度 . . .	0°C~55°C
		相対湿度 . . .	結露なきこと . . .
	保管時 . . .	温度 . . .	-15°C~65°C
		相対湿度 . . .	結露なきこと
入力電圧 . . .	DC 5V / 200mA ~ 500mA		

本体 (LBT-HS100C2) 仕様

連続通話時間 . . .	約10時間 *1
連続待ち受け時間 . . .	約350時間 *1
外形寸法 *2 . . .	92mm (長さ) × 50mm (幅) × 26mm (高さ)
質量 . . .	26g
バッテリータイプ . . .	充電式リチウムポリマー電池 ; 3.7V / 160mA

*1 充電状態や、外部環境により短くなる事があります

*2 本体のみ、突起部を除く

携帯電話用アダプタ (LBT-HSAD) 仕様

コネクタ形状 . . .	4極平型コネクタ
連続通話時間 . . .	約 6時間 *1
連続待ち受け時間 . . .	約250時間 *1
外形寸法 *2 . . .	35.5mm (長さ) × 44.3mm (幅) × 12.5mm (高さ)
質量	12.5 g
バッテリータイプ . . .	充電式リチウムポリマー電池 ; 3.7V / 160mA

*1 充電状態や、外部環境により短くなる事があります

*2 本体のみ、突起部を除く

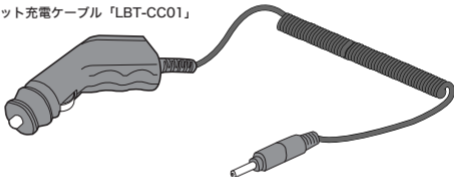
オプション品について

弊社では、車内で本製品の充電が可能な「シガーソケット充電ケーブル」を別売のオプション品として取り扱っております。

型番・	名称・	備考
LBT-CC01・	シガーソケット充電ケーブル・	12V車専用

※ 外国産車や、国産車の一部ではシガーソケットの形状が適合しない場合がありますので、ご注意ください。

シガーソケット充電ケーブル「LBT-CC01」



オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店または、ロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求めください。

ロジテックダイレクトホームページ： <http://www.logitec-direct.jp>

※インターネットに接続できない場合は、弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

